

有料職業紹介
訪問介護
通所介護
宅老&託児
E-mail
ホームページ
(株)サポート・ワン・サービス 津島市愛宕町4-113 496-0036
代表TEL:(0567)26-3921/FAX:(0567)26-3922

つしま紹介所 (0567)26-1281
ナイス・ケア (0567)26-3699
ナイス・デイ (0567)26-1282
ナイス・ホーム (0567)26-1282
info@s-o-s.co.jp
<http://www.s-o-s.co.jp>

vol.73(平成18年09月10日発行)



流しそうめん

いつもはとってもお話好きで、食事中でもよく話し、よく笑う利用者さん達が、この流しそうめんの時ばかりはシーンと静まり返って、真剣そのもの！流れてくるそうめんを、すくっては口に放り込み、堪能しておりました。が、後になって「食べた気せんがね！」と一いわれ、スタッフが負けじと、「何言っとんの!? 鱈腹食べとったがね(笑)」

ナイス・デイ利用状況(定期利用者数)

月	火	水	木	金	土	日
10名	8名	9名	10名	9名	9名	5名

社会見学じゃあ〜 100円ショップへ レッツらGO・GO!!



「今は、こんなに色んなものが100円(105円?)で売られるんじゃないかなあ……。ありがたいことだけど、こりゃあ、作っとる者が泣くわなあ。」

ナイスな勉強会・・・「馴れ合い(訪問)」

最近、訪問介護でも通所介護でも、茶話会(週1回のミーティング)での話に「慣れ」による話題が多く見られるようになりました。

訪問して行うサービス内容は、契約によって決まり(単位数による制限もありますが)、また、ケアマネージャーさんからの計画書にもヘルパーを利用する目的やサービス内容は必ず記載されています。

その上で、私たちヘルパーは、“を目的としている方だから、どう接すべき”や“サービス内容としては起床介助と排泄介助を行う”のようにわかる限りの情報を基にしてかわりが始まります。

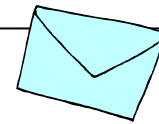
サービス開始時、担当のスタッフは最低でも3名。それぞれに個性があり、当然、利用者さんはその個性を見抜き、どのスタッフに何を主に頼むかを考えられることも多々あります。

しかし、数ヶ月〜数年経ち、ふと振り返ってみると、慣れてしまうことにより、“知らず知らずのうち自分がやりやすいような方法に変えてしまったこと”や、“基本内容にはなかったのに、つい手を出してしまったことが増え時間ぎりぎり慌しく終了するヘルパー”、また、“1対1の担当制ではないから、自分がきちんと出来なくとも、次の担当者が確認してくれるだろうという甘い考え”等々。

“こういう内容だったっけ??”のように、振り返るきっかけをつかんだ瞬間、「えっ。自分たちの時間的精神的余裕を無くした原因は自分達だった?」と気付くのです。

また、“いつも入浴しているから、身体はきれいなはず。”と思い込んでいて、麻痺側の手のひらに垢が溜まってしまっていることに気が付かず、ビックリして慌てて手浴してみると、湯面いっぱい垢が浮いてきて、利用者さんに「清潔確保が出来てなくてごめんなさい。」というような失態があったりと、申し訳ないことばかり……。馴れ合いでいい関係が作れるのはいいけれど、悪く出てしまうことは、極力さけるように、日々、サービス内容が基本に沿っているかを確認しなければいけませんね。

西野家の介護便利 その後のビックリ



西野家の介護便利の“その後”をお伝えしたあとのビックリした出来事です。

先月、「元気ですよ。」と通信に載ったあと、8月14日(月)、父ちゃんが入院してしまいました。“右自然気胸”という病名でした。通常は、タバコを吸っている20代の細長体型の男性に多い病気らしいと、看護辞書で知りました。看護婦さんには「この時期は、普通の人でも、突発的にかかりやすい病気ですよ」と聞き、ちょっと安心。

入院する前々日、いつものようにお母ちゃんとお風呂で湯船に浸かろうとした瞬間、顔面蒼白。心臓があぶつたような感じで「えらいでやめとくわ!!!」とすぐに風呂から上がり、ベットに横になって少し経つと「楽になったあ。」と……。母ちゃんビックリ!

「夜中に何かあったらどうしよう。」とブツブツいっている母ちゃんを横目に父ちゃんは「お休み〜ZZ……。」といつもの調子。

翌日は、「イスに座っていると胸が苦しくてしょうがないから横になりたい。」と訴えるが、母ちゃんいわく、「もしや、ぐうたら病では??」と、昨日に比べて、心配も薄れている様子。

仕事から帰ってきた私に、一日の様子を機関銃のように話した後、私が一言。「バイタル記録しておいたほうがいいんじゃない??」 母ちゃん早速測定&記録開始

「血圧はいつもと変わらないのに、脈拍だけはやけに高いのが気になるねえ。」と話しするも、父ちゃんいわく、「ジーンとしたりやええだわ。盆だで、病院もやっとなん!」と病院へは行きたがらず。

翌日、訪問看護師さんがみえたときに、母ちゃんが、今までの経過を話したら、即バイタル確認してくれて、「やっぱり、受診が必要だよ」って父ちゃんを説き伏せてくれた。

けれど、階段を下りようとしたら、「息は苦しいわ、体は動かないわ…」で、結局、即、救急車に助けを求め、地元の市民病院に少しの間、お世話になりました。(西野家の介護便利) その後のビックリは次回も続きます。)

ナイスな手作業

～ いろんな行動で、それぞれの几帳面な一面を発見できます ～

昔の癖でね、タオルケットをキッチリたたみたいの。父ちゃんが怒るから。



足拭きマットの敷き方は、私に任せてくださいな!



洗濯物があつたら持ってきてえ。どんでだけでもたためるよ(笑)



～ ここのトイレ、あそこのトイレ ～

「出掛けようと思うけど、どういうトイレがあるのか心配でなあ……。」という利用者さんとの会話から、この地域にある施設やお店などのトイレを探索し、掲載することになりました。(注:トイレの良し悪しを評価するための掲載ではありません。) 今回は、愛西市立田地区にある「ふれあいの里」です。

トイレの構造自体は、他の障害者トイレと似ていましたが、多くの障害者に利用してもらいやすいように、沢山の設備が整えられていました。今回は、トイレ前の案内板を撮ってきましたよ。



編集後記

S・O・S通信 vol.71のナイスな手作業に掲載した「畑を作ろう」。9月頭、プロコリナーなどの作物が植えられ、やっと、誰の目からも畑だと分かる状態になりました。出来上がりをご紹介しますね。



デイを利用される方の中に、土いじりが好きの方がみえるので、気軽に畑を手伝ってもらい、見ることで季節感を味わってもらい、とにかく、建物で入り口の目と鼻の先に土があるというのは、何となくですが、心地のいいものです。

弊社に訪される機会があれば、是非「のどかな雰囲気」を感じてみて下さいね。(H)